

皆が笑顔になる、「フェアトレード」便り No.2 田中惣一商店 2023.1.1

「フェアトレード」(公正な貿易)

***言葉は聞いたこと、あるけど、いまいち、わからない？

少しでも、皆様へ、身近に感じていただけるように、発信していこうと思います。***

「フェアトレード」とは、開発途上国の原料や製品を適正な価格で継続的に購入することで、生産者や労働者の生活改善と自立を目指す「取引のしくみ」の事です。

(一方的な寄付ではない持続可能な取り組みです)

<<いろいろな新しい言葉で、ちょっと、混乱気味？改めて、復習してみますね。>>

「SDGs」・・・Sustainable Development Goals の略の事。「持続可能な開発目標」の意味
2015年に国連総会で、決められた2030年までに目指す17の目標。

まずしい人々が取り残され、地球環境は悪化しており、このままでは世界が立ちいかななくなるという強い危機感のもとにつくられました。

SDGsは将来の世代のための環境や資源をこわさずに今の生活をより良い状態にするための目標です。実現するために、国や企業などのリーダーも協力、行動が大切です。私たちもこれらの目標について考えたり、話し合ったり、自分以外の人や地球を大事にして生活していくことが大切です。

「Sustainable」(サステイナブル)・・・持続可能な

「ethical」(エシカル)・・・エシカルとは英語で、直訳すると「倫理的な」という意味です。「人や地球環境、社会、地域に配慮した考え方や行動」のことを指します。エシカルは形容詞なので、様々な名詞と組み合わせることで、その意味は多様に広がります。例えば、

「地域への活性化や雇用なども含む、人や地域環境、社会に配慮した消費やサービス」のことを「エシカル消費」と言います。・・・消費者庁では、「エシカル消費」=消費者それぞれが各自にとっての社会的課題の解決を考慮したり、課題に取り組む事業者を応援しながら消費活動を行うこと。「**エ**いきょうを**シ**っかり**カ**んが**エ**ル」一般社団法人エシカル協会より

(私は21年4月にエシカル協会のエシカルコンシェルジュ講座を修了)

少し高いフェアトレードのチョコレートで見る「エシカル」な考え方

私たちが普段食べているチョコレートの原料のカカオは途上国で作られて、その背景には低賃金、児童労働、男女差別など整っていない労働環境があります。経済的な貧困が大きな原因です。国際的なフェアトレードの基準では生産者が適正な対価を得られるよう持続可能な生産と生活を支えるフェアトレード価格が設定されています。生産者が適正な収入を得ることが出来れば、低賃金労働、児童労働、といった労働環境が改善されることにつながります。消費者としての私たちが積極的にフェアトレードより作られた製品を購入することで、遠く離れた国の生産者にも適正な代金を払うことの助けとなるというわけです。

こうした自然環境だけでなく、労働や男女などの社会環境にも配慮され作られたものを選んで購入することが「エシカル消費」になります。